

経営のグローバル化：

コーポレートガバナンスとサステナビリティから考える

国際学部教授 小林 敏男

IT 企業の雄 GAF A（グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル）に限らず、企業経営のグローバル化は、日本企業の間でも顕著なものとなり、宮島（2019）が示しているように、日系リーディング企業の「海外売上高比率は、上位 10 社の加重平均で 2000 年度の 46.1%から 2017 年度には 69.8%に、また上位 100 社でも 34.3%から過半となる 51.7%まで急増した」（p.6）。これらは、成長戦略の一環として海外への直接投資、M&A を積極化させたためである。いきおい、グローバル企業は事業の多角化のみならず地理的にも多面化し、グループ企業に対する内部規律統制（マネジメント）と、親子上場等に象徴される国際的コーポレートガバナンス問題に直面するようになった。

前者の内部規律統制問題は、日系企業特有のニッチセグメントの獲得をめざした多角化が国際市場では成果を上げられていない資本効率上の問題に起因しながらも、結局は構造上の子会社経営者と親会社株主との利害対立構図として取り扱うことも可能で、それゆえ、後者の国際的コーポレートガバナンス問題に収斂させて考察することも可能である。

しかしながら、資本効率の良し悪しを検討する組織体制を組み入れながら、グループ経営として方針をどのように掲げ、グローバルな協働体制をいかに構築していくかについては、国際グループ経営問題として今後も深く検討していかなければならない（竹田、2019）。

次に国際的コーポレートガバナンス問題については、より具体的な問題解決が求められているようである。原田（2019）は、「日本法人の子会社である外国会社の取締役に対して、親会社株主が、代表訴訟（いわゆる二重代表訴訟）を提起したとする。その場合、裁判所はいずれの国の法によって、事案を処理するのか。親会社たる日本法人の従属法（設立準拠法）のみによるのか、子会社のそれによるのか。あるいはそれ以外の方法によるのか」と問いを投げかける。

この問題は、単なる準拠法の選択問題だけではなく、その適用と正当性構成が絡むだけに難しいケーススタディになる。子会社が未上場企業であれば、それほど大きな問題ではないかもしれないが、親子上場の場合、海外現地子会社には、現地での法（制度）と株主（価値観）を抱えているため、少数株主保護等のことからしてもなかなか難しい議論が予想される。

さて、グローバル企業にとってのもう 1 つの共通課題は、地球環境、地域振興にも配慮したサステナブル経営である。環境・社会・経済の 3 理念を同時並行的に成長・充実させる SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能発展諸目標）経営が求められている。そうした中で、経済、すなわち資本市場の観点から SDGs の推進を目指そうとする論考も見られるようになってきた。水口（2019）は、SDGs をキチンと行おうとする企業を資本市場が評価する仕組み、すなわち SDGs 推進企業が高く価値づけされるような資本市場に整備する取り組み、の重要性を訴えかけている。

具体的には、これまでの貨幣資本概念だけに留まらず、「社会・関係資本」及び「自然

（環境）資本」をも資本勘定に組み込み、貨幣資本に基づくリスクとリターンだけの経済合理性枠組みに、3次元目として社会や環境への「インパクト」を組み入れ、インパクトの数値化をもとに評価する、というものだ。インパクトが「正」「負」に分かれれば、評価も正・負に分かれる、という考え方であるように思われる。

しかしながら、この試論も問題がないわけではない。貨幣経済だけを念頭においた資本市場において効率的・効果的に蓄積されてきた指標に格付けがある。この格付けは、最終的には、リスクプレミアムに反映されることになるが、成長性、ガバナンス、社会的責任等々、それらが総合的に勘案され導き出されたものである。これとは別にインパクトファクターを導入するとなると、理論上よりも実践上の混乱が予想されるように思われる。

とはいえ、国際経営の議論は、急速に発展してきており、今後益々その充実が期待できるように思われる。

<参考文献>

1. 竹田志郎（2019）「グローバル化の進展と市場開発—多国籍企業の競争と「協調」—」『横浜経営研究』第40巻，第1号。
2. 原田 央（2019）「国際会社法—株主代表訴訟における展開と課題」『旬刊商事法務』No. 2211.
3. 水口 剛（2019）「SDGs 推進に向けた資本市場の役割」『証券レビュー』別冊。
4. 宮島英昭（2019）「グローバル企業のグループガバナンス—企業価値の向上に向けて—」『旬刊商事法務』No. 2211.